様式第二号の九（第八条の四の六関係）

（第１面）

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和 8 年 6 月 25 日

茨城県知事　　大井川 和彦　　殿

提出者
住　所　〒304-0005 茨城県下妻市半谷903
氏　名　カルビー株式会社
東日本事業本部 下妻工場
工場長 山田洋介
TEL 0296-43-3571
（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）
電話番号

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第 12 条第 10 項の規定に基づき、令和　　7 年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	カルビー株式会社　東日本事業本部　下妻工場
事業場の所在地	茨城県下妻市半谷 903
事業の種類	食料品製造業
産業廃棄物処理計画における計画期間	令和７年４月～令和８年３月

産業廃棄物処理計画における目標値

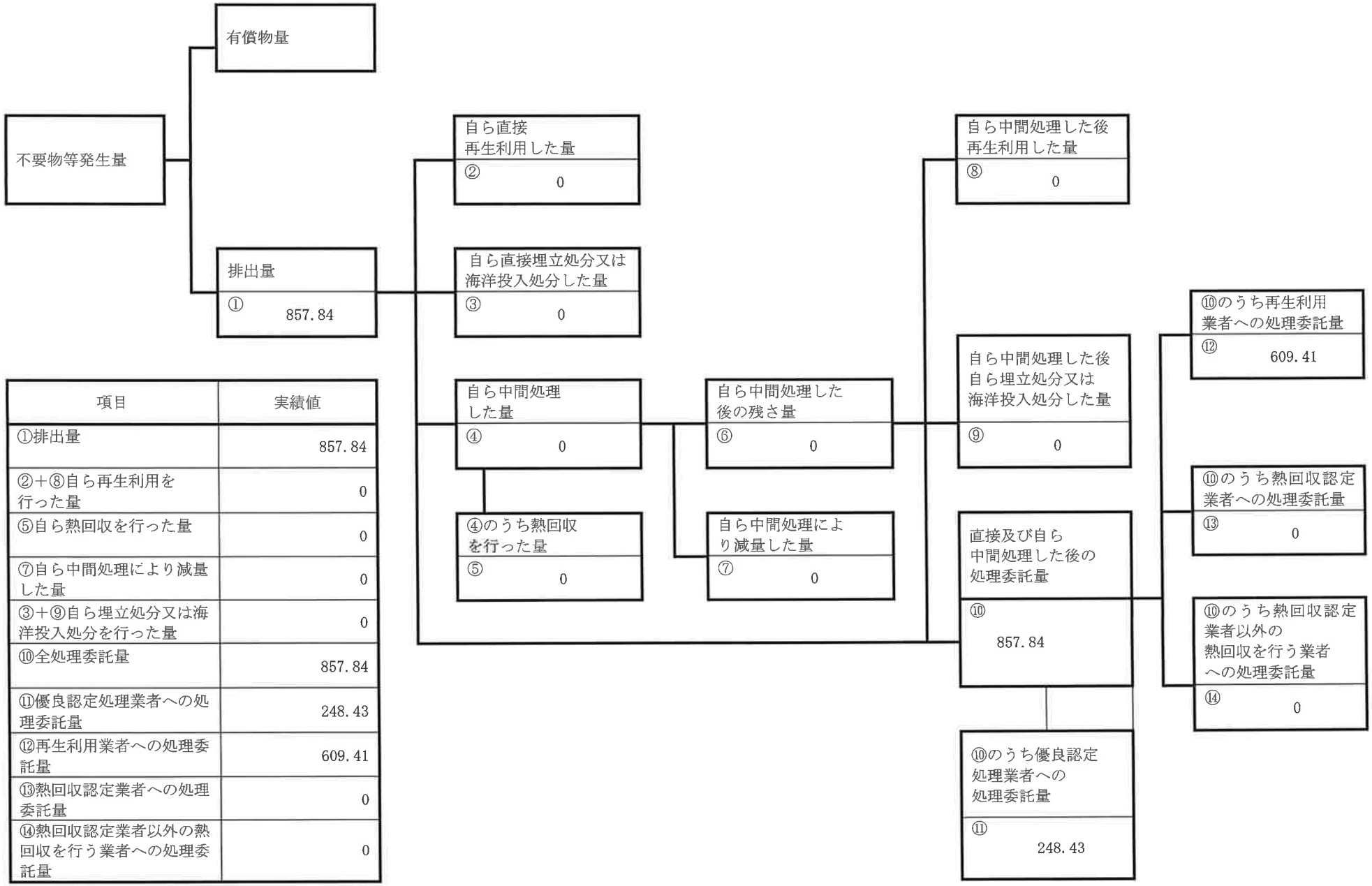
項目	目標値	項目	目標値
排出量	2,541.00t	全処理委託量	1,191.00t
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0t	優良認定処理業者への処理委託量	310.00t
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0t	再生利用業者への処理委託量	881.00t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	1,350.00t	認定熱回収業者への処理委託量	0t
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0t	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0t

※事務処理欄	

（日本産業規格　A 列 4 番）

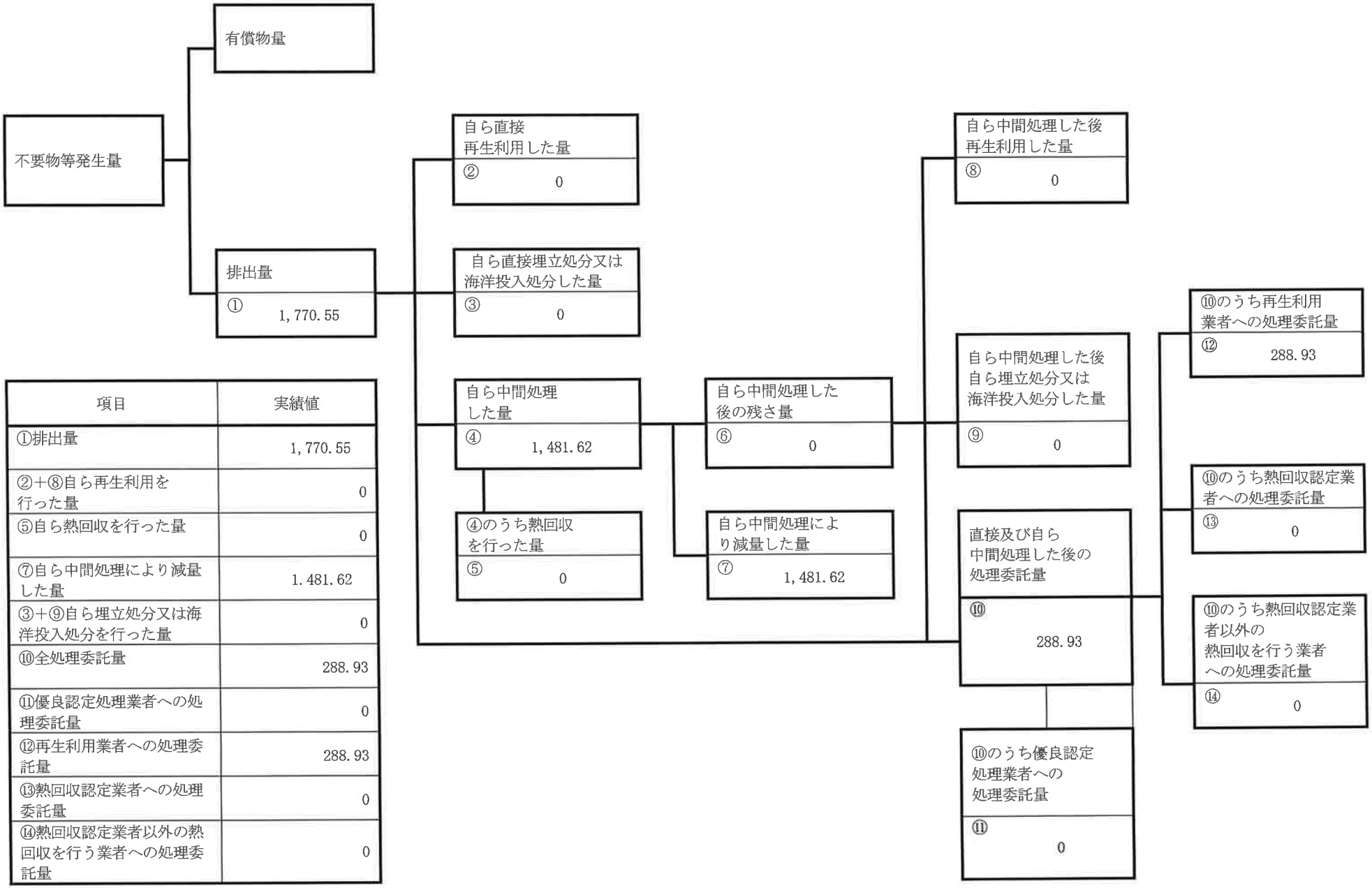
茨城県 令-8.6.26 県西県民センター 受付

計画の実施状況　（産業廃棄物の種類：汚泥　）



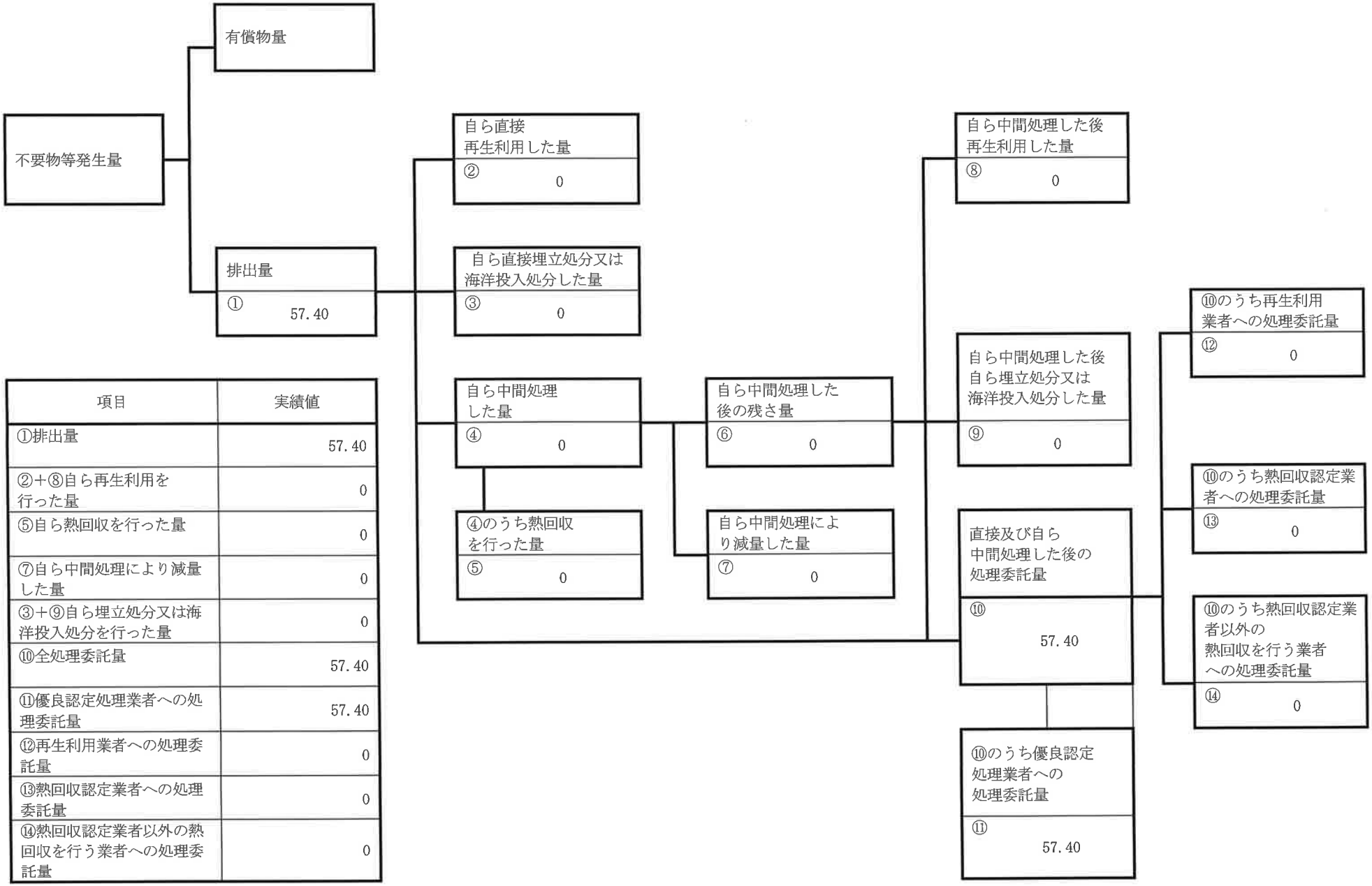
項目	実績値
①排出量	857.84
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0
⑤自ら熱回収を行った量	0
⑦自ら中間処理により減量した量	0
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0
⑩全処理委託量	857.84
⑪優良認定処理業者への処理委託量	248.43
⑫再生利用業者への処理委託量	609.41
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0

計画の実施状況　（産業廃棄物の種類：動植物性残さ　）



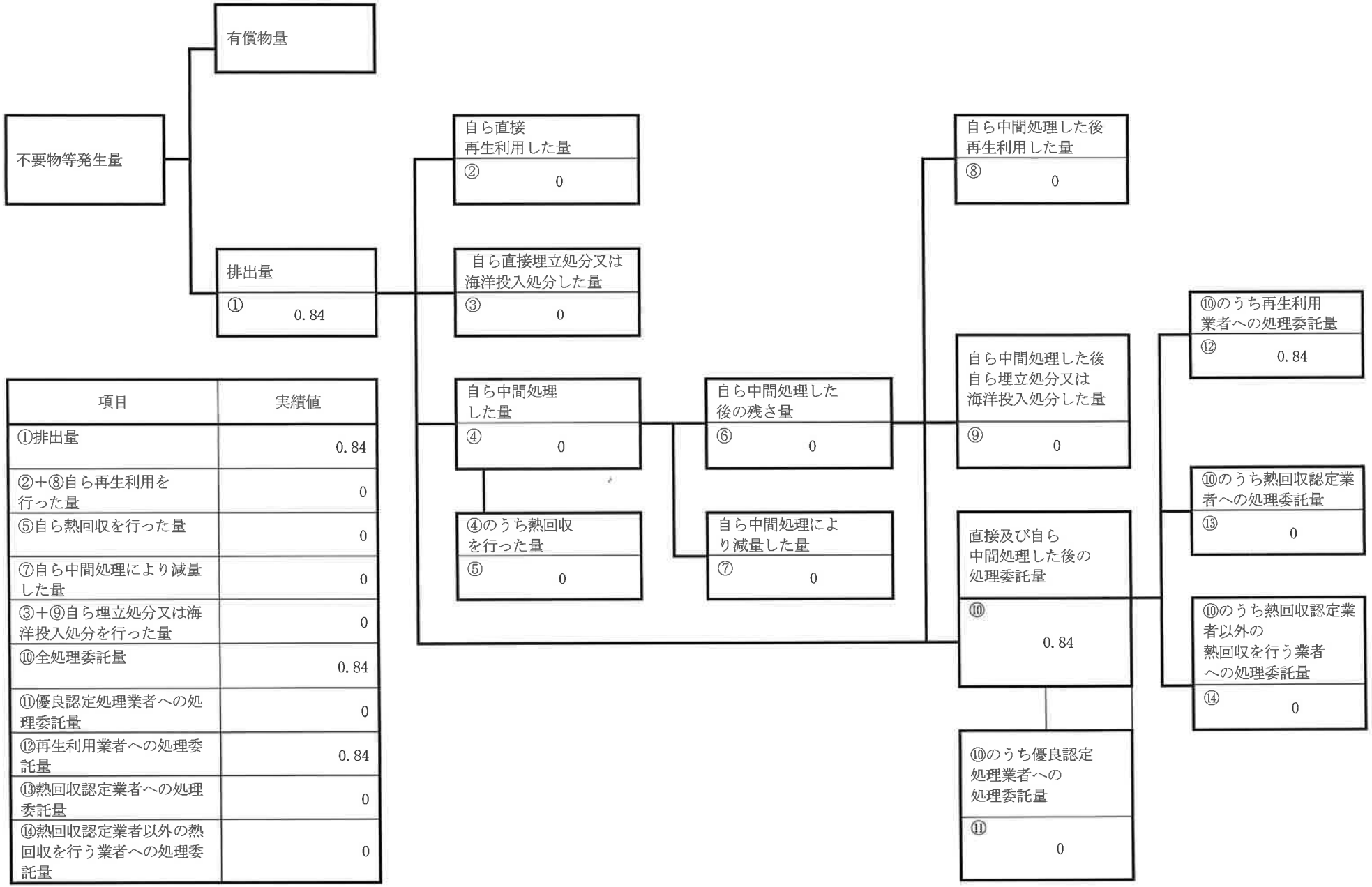
項目	実績値
①排出量	1,770.55
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0
⑤自ら熱回収を行った量	0
⑦自ら中間処理により減量した量	1.481.62
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0
⑩全処理委託量	288.93
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0
⑫再生利用業者への処理委託量	288.93
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0

計画の実施状況　（産業廃棄物の種類：廃プラスチック　）



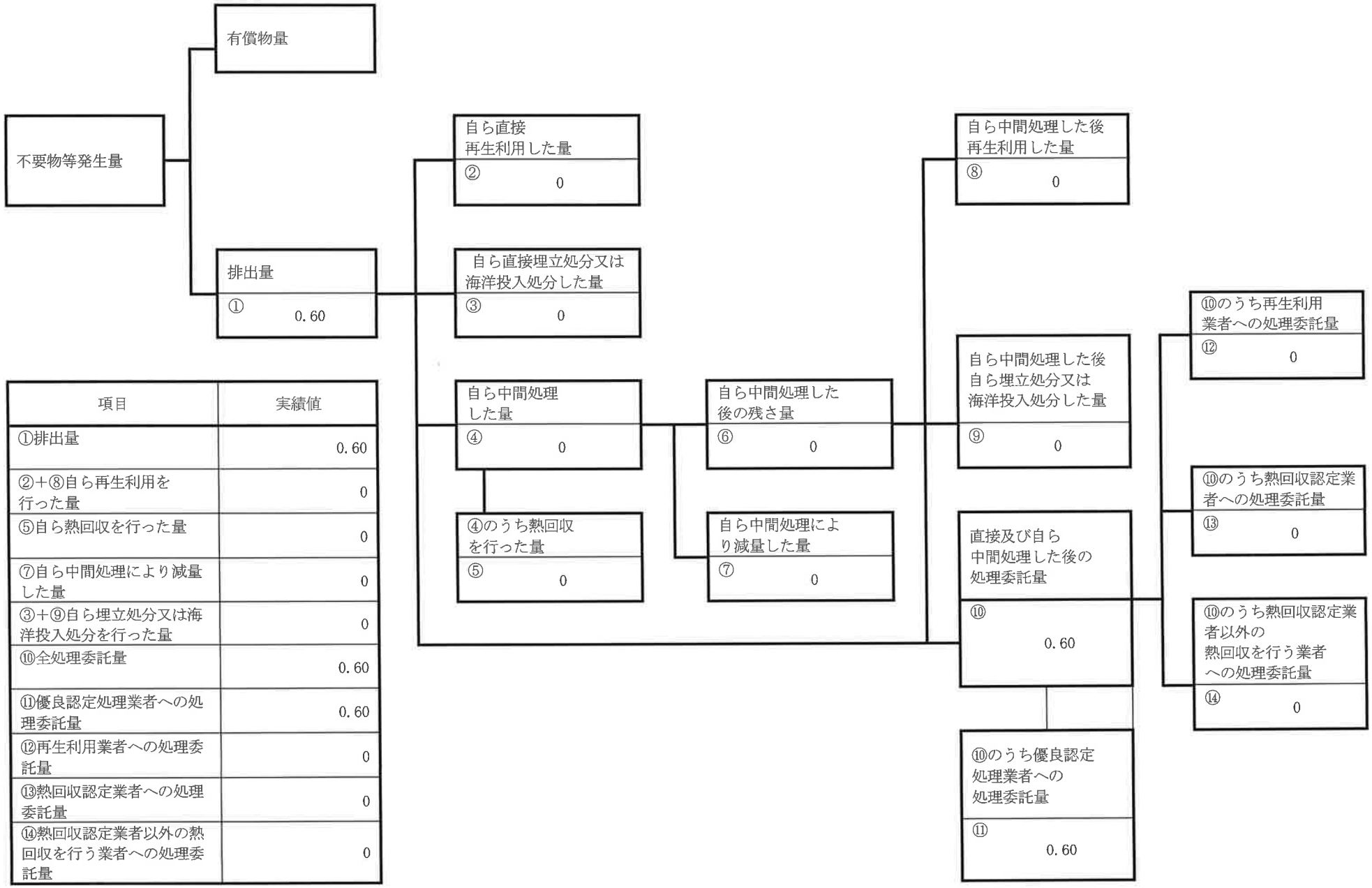
項目	実績値
①排出量	57.40
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0
⑤自ら熱回収を行った量	0
⑦自ら中間処理により減量した量	0
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0
⑩全処理委託量	57.40
⑪優良認定処理業者への処理委託量	57.40
⑫再生利用業者への処理委託量	0
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0

計画の実施状況　（産業廃棄物の種類：廃油　）



項目	実績値
①排出量	0.84
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0
⑤自ら熱回収を行った量	0
⑦自ら中間処理により減量した量	0
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0
⑩全処理委託量	0.84
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0
⑫再生利用業者への処理委託量	0.84
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0

計画の実施状況　（産業廃棄物の種類：ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず　）



項目	実績値
①排出量	0.60
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0
⑤自ら熱回収を行った量	0
⑦自ら中間処理により減量した量	0
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0
⑩全処理委託量	0.60
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.60
⑫再生利用業者への処理委託量	0
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0

備考

１　翌年度の６月 30 日までに提出すること。

２　「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。

３　「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。

４　第２面には、前年度の産業廃棄物の処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。

(1) ①欄　当該事業場において生じた産業廃棄物の量

(2) ②欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量

(3) ③欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量

(4) ④欄　(1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量

(5) ⑤欄　(4)の量のうち、熱回収を行った量

(6) ⑥欄　自ら中間処理をした後の量

(7) ⑦欄　(4)の量から(6)の量を差し引いた量

(8) ⑧欄　(6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量

(9) ⑨欄　(6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量

(10) ⑩欄　中間処理及び最終処分を委託した量

(11) ⑪欄　(10)の量のうち、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第６条の 11 第２号に該当する者）への処理委託量

(12) ⑫欄　(10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量

(13) ⑬欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第 15 条の３の３第１項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量

(14) ⑭欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量

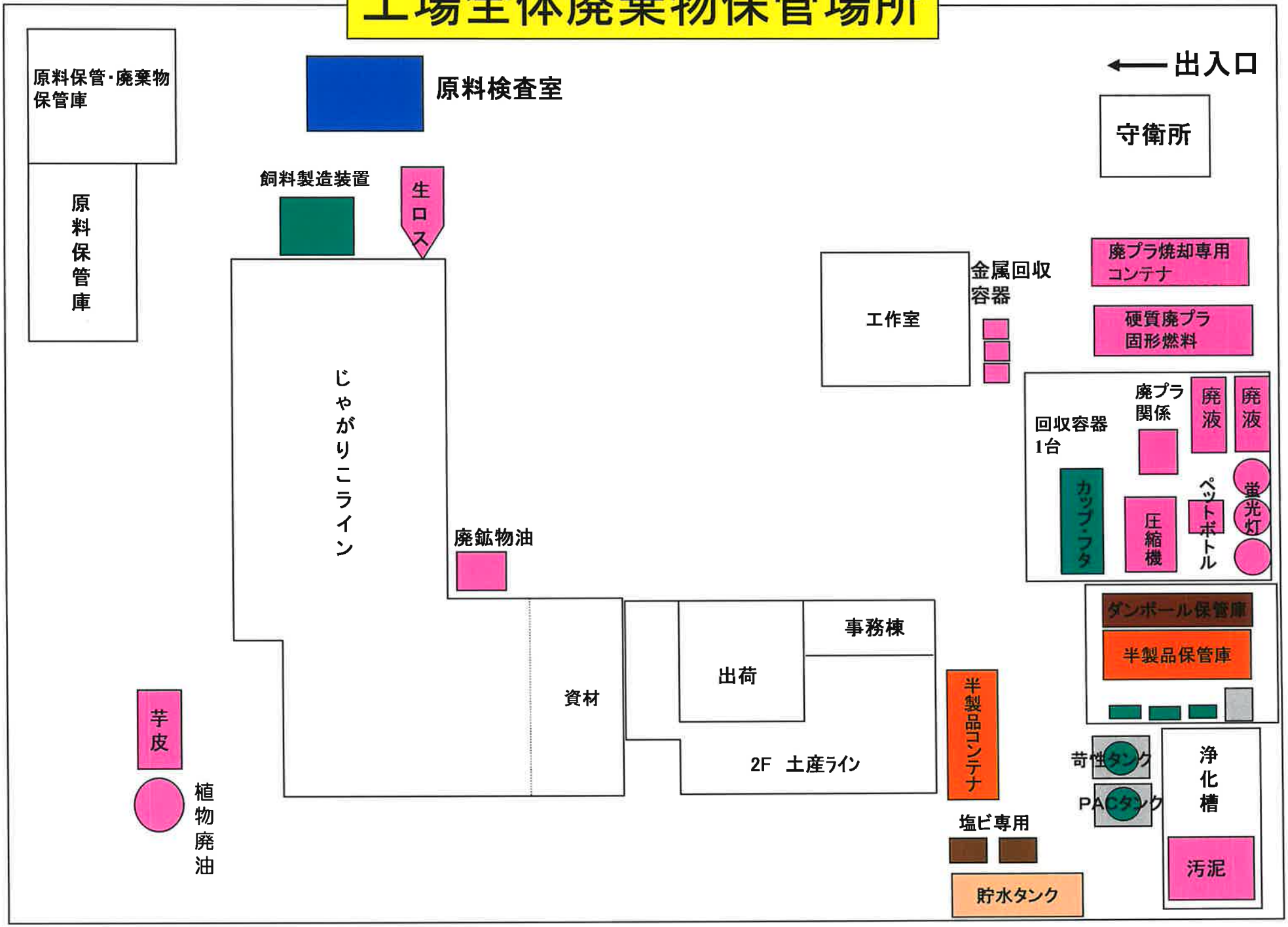
５　第２面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。

６　産業廃棄物の種類が２以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第２面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。

７　※欄は記入しないこと。

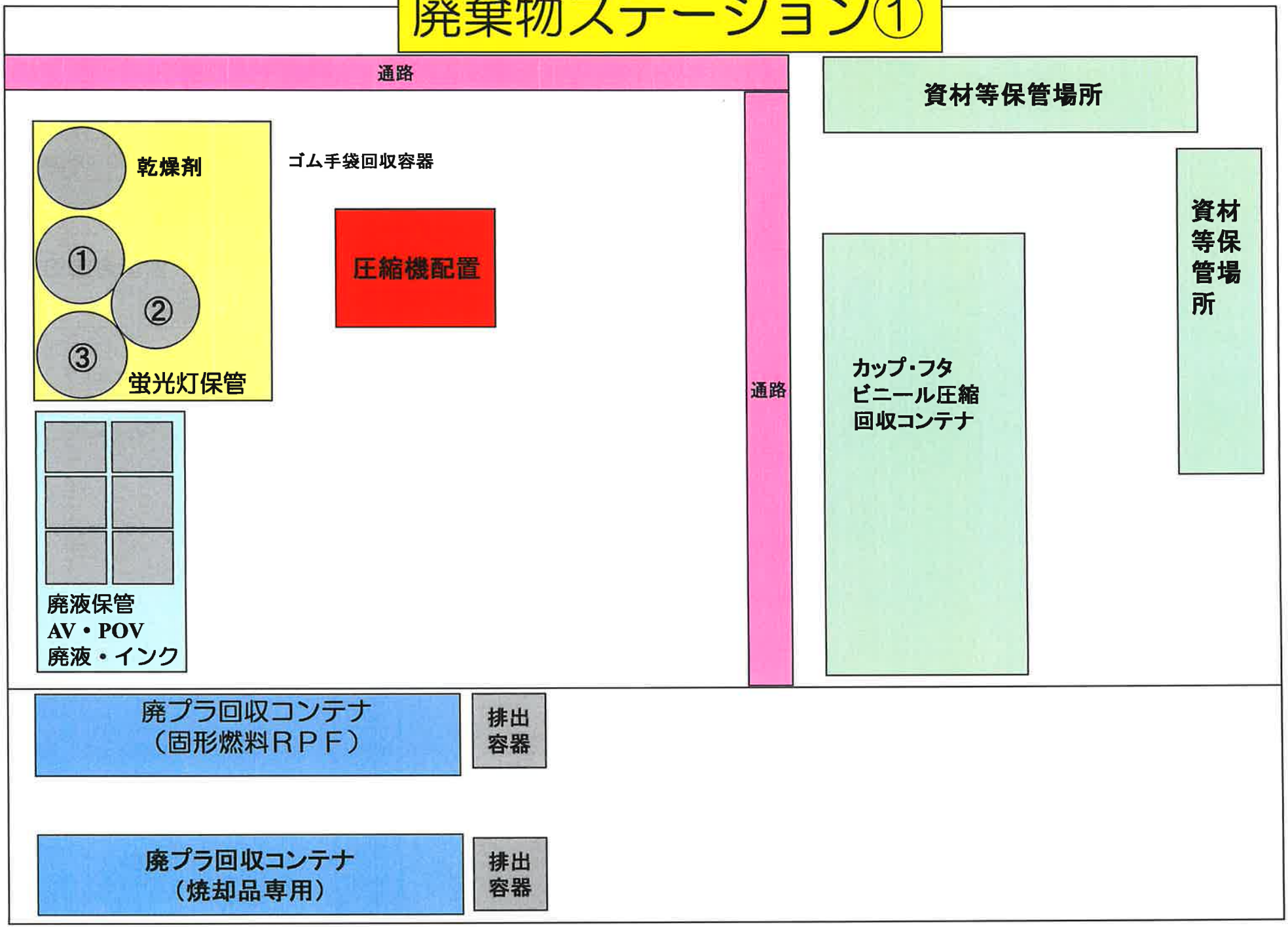
工場全体廃棄物保管場所

作成日：2025年3月現在　土山



廃棄物ステーション①

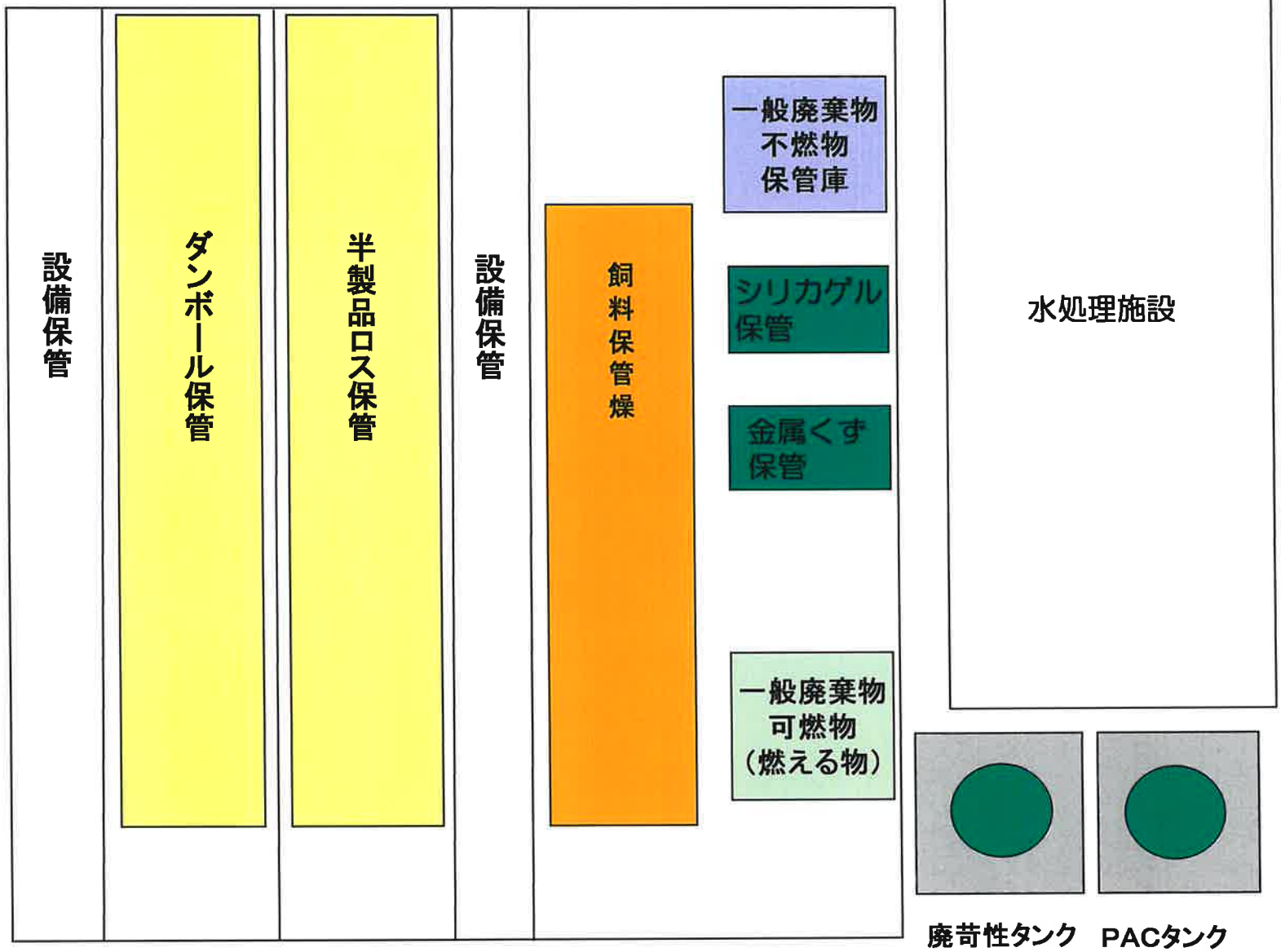
作成日:2025年3月　土山



廃棄物ステーション②

作成日：2025年3月　土山

廃棄物ステーション2内部



下妻工場排出品分別項目(廃棄物・有価物)
※工場内分別(工場内呼び名)

2025年3月31日　　保全課 環境保全チーム 土山

	廃棄物名 17品		有価物名 17品
1	脱水汚泥	1	廃鉱物油(精製廃油)
2	動植物性残さ（馬鈴薯・甘薯）	2	半製品ロス(飼・肥料原料)
3	動植物性残さ(液状形態)	3	ダンボール類(古紙原料)
4	泥状汚泥(ピット清掃)	4	紙管屑、台紙
5	原料付着土砂	5	ストレッチフィルム
6	油水分離沈澱物	6	植物廃油(じゃがりこ)
7	動植物性残さ(製品廃棄焼却処分)	7	植物廃油（ジャガビー）
8	ビニール・カップ類（圧縮処理）	8	金属（ステンレス）　相場変動有
9	廃プラスチック固形燃料化	9	金属（鉄類）　相場変動有
10	廃プラスチック焼却再資源化	10	金属（配線類）　相場変動有
11	分析試薬廃液処分1(理化学検査)	11	金属（解体ステン）　相場変動有
12	分析試薬廃液処分2(特管物)	12	プラスチックパレット
13	廃油（焼却）	13	廃油カス(ドラム缶入)
14	塩ビ管等塩ビ素材品	14	ピット浮上油(ドラム缶入)
15	乾燥剤(シリカゲル)	15	食堂廃油(ペール缶)
16	ガラス陶磁器類	16	動植物性残さ（エコフィード）
17	可燃・不燃物処理（市処分場）	17	動植物性残さ（バイオガス燃料）

2026年4月末時点
廃棄物　50%
有価物　50%